

# 鶴岡ロータリークラブ会報

# 841

1976-2-3 No.32

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさこや  
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30  
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775  
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

## ◆ 点 鐘

◆ 君ケ代、ロータリーソング（奉仕の理想）

◆ ビジター・ゲスト紹介

◆ 会員・奥様誕生祝（親睦委員）

◆ 月間・年間出席表彰（出席委員）

## ◆ 会長報告

◆ 定例理事会決定事項

青年海外協力隊設立基金募集の映画会「アサンテ・サーナ」上映について  
協力依頼あり15,000円の協力をするに決定

◆ 鮫島志芽太先生（鹿児島人事委員長）2月18日第2中学校訪問のため来鶴  
（羽越2号14時40分着）市役所、児童博物館見学後月山荘にて講演会（5時）  
及び歓迎会（6時）会費 3,000円

◆ ロータリー財団寄付1700%達成

◆ 職業分類委員会より

充填未充填職業分類表発行さる充足に一層の協力を

◆ 鶴岡西RC土井秀夫君死亡、御冥福を祈る

## ◆ 幹事報告

◆ 鶴岡西RC 2月13日タラ汁会 午後6時 湯田川、七内旅館 登録料 5,000円

◆ 酒田RC 2月4日 12時 職場見学会 酒田電信電話局

◆ 会員スピーチ 三井 徹君（後述）

## ◆ 出席報告

## ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を！

## 会員スピーチ

## インターアクト米国親善研修旅行を終えて

三井 徹君(旅行団団長)

1月4日羽田を出発しまして、11日に又、羽田に帰って来ました。この日程で多年懸案でありました、インターアクト海外研修旅行に行つて来ました。

私は団長と言うことで行つて参りましたが総勢15名です。もう訓練されている人達ばかりですから何も問題がなくて、一同無事帰つて参りました。

向うに行つて参りまして、この人達の喜び、感激と言うものを見まして、非常に素晴らしい企画であつたと、しみじみ感じさせられて居ります。それには又、昨年からいろいろ向うと折衝して頂いた方々、昨年行つて頂いた方々の地均と言うか、いい例を残して頂いた事もありますし、受入れ側の周到な準備、行く前も数回の連絡がありまして、向うのスケジュール、集会のプログラムと言うものまで皆送つて貰つて準備して頂いた様に、非常に周到な準備のもとに、快よく迎えて頂いたという事が非常に印象的でした。

ここに行つて参りました齋藤稔君が、たまたま礼状を呉れましたので、行つて来た人達の気持を表わしたいと存じます。

「私としても今回の研修旅行は、本当に勉強になりました。アメリカのインターアクトのメンバーとも深く友達になつたし、これからの活動に取入れ、唯行つて来たんだと云う形で終るのでなく、これからが最も大切なんだと云う気持で、親しくなつた彼等と文通等で、もっともっと深く国際理解を深めたいと思います」と、この様に書いて来て居ります。向うで旅行の終りに集会をしたのですが、皆んなが皆、今後これを如何に発展させて行くか考へて居る様です。この様に非常に大切な皆さんの予算を使つて行つて来ましたので、非常に効果があつた、予想以上の成果があつたと思つて居り、御礼と敬意を表したいと思ひます。

いろいろ向うから頂いて来たものがありますので、百聞は一見にしかずで、見て頂きたいと存じます。これが、サン・バルデーノクラブのバナーです。ここに書いてあるのは、インディアンの矢尻です。(バナーの図案)

サン・バルデーノは、カリフォルニアの南の方です。ここに丁度、現ガバナーの名刺がありますが、サン・バルデーノの風景の写真があります。これに533地区の印が書いてあり、仲々おもしろいので御覧下さい。

インディア人が、住んで居りまして比較的 naturally 恵まれて居つた所だと思います。あの辺は我々良い所だと思つて居りましたが、全く雨が降らないで砂漠に近い様な所でした。インディア人が住んで居る所は、丁度温泉が出る様な所で周りに小高い山があり、その山に矢尻の印がついてあるのが遠くから見られ、そこにインディア人が住んで居るそんな所です。カリフォルニアは、非常に気候の良い所ですが、田舎に行つて見ますと山は枯れた山、完成しない田は、枯草のみと云う様な不毛の地に近いものであつたのですが、ここにフォーバードムから、水を引いて来て肥沃な農地にし農業をやつて居るのですが、非常に感心して参りました。

丁度、アメリカは建国200年でありまして、その為にも我々非常に歓待された様です。頂いたものを紹介しますと、ガバナーから貰つたネクタイで、これにも矢尻が使つてあります。サン・バルデーノの市役所で皆んなに呉れた200年記念のメダル、そして市の鍵のミニチュアは、市長がインターアクトの学生一人々と握手し、しっかり頑張れと渡したものです。彼等は感激して目をしばたいていた様でした。

アルバムを御覧下さい。又、ロスアンゼルス紙の羅府新報(アメリカで一番大きい邦字新聞)の日本人記者が来て、インタビューをし掲載して呉れました。5万部位発行されアメリカ全国に行つて居るそうです。その他サン・バルデーノの市の状態を書いた資料、200年記念のカレンダー、更に市役所からカレンダー及びゴップが全員に渡されました。

次に、旅行の概要を申し述べますと、最初にまず、サンフランシスコに参りまして、ここで時差で少しづつ休ませて少し休ませて、昼食を「漁夫の波止場」で蟹料理を食べました。蟹が沢山獲れますので、おいしく食べました。

旅行中無事故でしたが、唯一のハプニングと云いますとサンフランシスコ、ドレークホテルで夜遅く妙齡の婦人が、インターアクト会員の部屋や先生の部屋などをノックして来ましてドアを開けた。一同大いに驚いたのが、ハプニングと云える唯一の出来事でした。それ以外は事故、ハプニングは一つもありませんでした。

サンフランシスコは古い港町で名所としては金門公園、ケネディ公園、金門橋を見たり古いケーブルカーがありましてこれは、観光用にとつてあるのだと云うので料金は、25セントで乗つた

り降りたり飛び乗ったり楽しんだ様です。サンフランシスコは2泊でしたが、翌日カリフォルニア大学に参りました。ここは、パークレーと云う所で、サンフランシスコの街から非常に新しい地下鉄、無人操作の地下鉄に乗って、バートと云うのですがこれに乗ってカリフォルニア大学の本部を見学して来ました。丁度ここに、昨年インターアクトの研修旅行の添乗員をして下さった富士海外KKの小川さんと云う方が今年は、カリフォルニア大学並びにイリノイ大学に日本史の講座を持ち更に、日本人の英語教育を行う機関の主幹として活躍している同氏に逢って、種々の説明を受け大変参考になりました。

カリフォルニア大学は、パークレーが本部であと数ヶ所に有り学生が3万人位居る学生街です。ノーベル賞授賞者を13人も出していると云う誇り高い大学であります。そして、入学するには非常にやさしい処ですが卒業するのは非常に難しく70%位しか卒業出来ないそうです。非常に広い購買部があって、学生が運営しているがこれはある程度の成績を取らないとそこで働けないそうです。

サンフランシスコを発って、ロスアンゼルスに来ましたが、その空港に533地区の現ガバナー、それに直前ガバナー、クラブのインターアクト委員長、地区のインターアクト委員長、それに阿部米一氏（歯科医でこの方が全部御世話をして呉れた）これらの方々が出迎えて下さいました。現ガバナー、直前ガバナーは夫妻で迎えて下さいました。

これらの方々の車に分乗して市内を見学しましたが、パーマースマーケットで昼食をとりましたが、そこには沢山小さな店があって、ガバナー達が種々の物を持って来て気軽に私達にサービスして呉れました。それからメキシコ街と云う所に行ったりしましてホテルに入りました。夕食は、ロータリアンだけで、日本料理の「川福」と云う所で御馳走になったのですが、ここは非常に大きな所で、2階、3階に庭園がありその両側に部屋があると云う様な大きな店でした。その晩ホテルに、ポールパーマーさん御夫妻が尋ねて来られまして、ゆっくり話をする機会を得ました。

翌朝又、前日の方々が迎えに来て呉れましてサン・バルデーノに参りました。到着しましてすぐ市役所に参りました。市長さんが出迎えて呉れましたが、西部劇の開拓の農家から出て来たみたいなき感じの、実直そうな人でした。我々と挨拶したり、市長からのメッセージを手渡したりしましたが、驚いたのは、大人より、子供の方に顔を向けまして、先にも話しました様に一人一人と握手をして鍵を渡したり、非常に感心させられました。

市役所の自慢して見せて呉れたのは、資料室といいますが、いろんな市の状勢を図面に書いたものや、パークライトに書いたものが、約20帖位の部屋一面に貼ってあり、それが、取り外しが出来る様になって居り、問題が生ずると、それとこれを重ねて見ると、どうなると云う工合のものが沢山出来て居りました。それらは市役所内部の者が作ったのではなく、外部の専門家が作った物で、これが御自慢の様で、我々もなるほどこれならば、良く判るのではないかと感じました。

次に、近くのカーホン高等学校と云う農業学校に参りました。この食堂で昼食をとりましたが、食堂はコックさん以外は、全て生徒がやって居り、生徒がよくサービスをして呉れました。食堂を出ますと、一人の生徒が“ハイ”と云って寄って来て、上衣を脱いでお互いに上衣を交換して着て記念写真を撮り歓迎の意を表わして呉れました。始めは少し驚きましたが、非常に気持の良いものでした。次に、パンフィクハイスタール、ここは普通の高校でした。ここを訪問しましたら、コーラスグループがとてもきれいなコーラスで歓迎して呉れました。それから阿部先生宅に参り御世話になったのです。その晩は、ロータリー関係、インターアクト関係とミニカンファランス・デナーと云う集会ありまして出席のロータリアンは殆ど御夫妻でありました。関係者以外のロータリアンも30名位出席して居りました。それにインターアクトの生徒80名位が出席し会場は満員で、非常に和やかに、大人と子供が溶けあい和気あいの会合で、こちらの生徒も先生もスピーチをしたり、私も挨拶を少しし、和やかに食事をしながら、手品等が出たり楽しい一時を過ごしました。

この様な学校を見て感じますのは学校の中でのインターアクトの地位は、本当に自然に全校生徒と溶け合っている感じで、生徒会の中のクラブに入るとか同好会に入るとか、その様な区別は全然問題にならないで種々のクラブに入っている人でも、インターアクトの会合には出席するし、会員以外の人でも集会がありますと出てくる様で非常に良く溶けあって居りました。勿論運営といったものも上手でありインターアクトガバナーと云う様な役目のサクセスと云うのは、こちらが行く前にスケジュールプログラムを送って呉れましたが、我々が向うに行ってみましたが、非常に細かく気を使って学校内でも良き関係を作って、上手にやって居る様です。デズニューランドに行くにも中にエパーソフトを入れる座布団をくれまして、これはどこでも

座れるのだ、野球を見る時等に使用するのだそうですが、こんなものを全員にくれ高校生をやりにしては非常に慣れて上手にやって呉れます。こちらの学生達も我々の予想以上に英語が話せますし、打ち浴けて愉快地にやって居る様に見えました。

サン・バルデーンに着いた翌日は一日ゆっくり朝からデーズニューランドに行きました。あちらの方々の案内で一日楽しんだ訳ですが、サン・バルデーンはその様に非常に便利な所です。デーズニューランドは勿論、天皇陛下が御覧になった200年記念のパレード、あれが今呼び物になって居ります。時代祭りみたいな各時代の開拓の年度にしたがって種々のものが出て来ます。非常に面白く見られました。今、もっとも大人が面白いのは開拓の歴史を映画で見せて呉れますが非常に大きな周囲全体がスクリーンになって居り、それに写しますと我々が本当にその中に居る様な感じ、乗物に乗って居て自分が走って居る様な感じになります。そういう映画をやって居りまして、すごい迫力で今呼び物になって居ります。デーズニューランドで一日楽しんで帰りますその夜は各々御世話になった家々2、3軒一緒になって夕食会をした様です。生徒も適宜集って楽しんで居った様です。こんな状況でサン・バルデーンに2晩過ごして非常に楽しいと云う一語に尽きるのではないかと云う感じでした。本当に不愉快な思いは誰一人持っていないと思います。

1月9日サン・バルデーンを発ちまして、ハワイ、ホノルルに寄りここで一休みして参りました。サン・バルデーンは人口10万位の田園的な都市で静かない所です。殊に現在のロスアンゼルスになると極めて騒々しくなりますし現ロスアンゼルス市の市長は黒人ですので街の中は黒人が一杯で白人は外に出て居る状態だそうです。どうしても黒人の力が強いとのこと。サン・バルデーンは、そう黒人も居りませんし、オレンジの産地、鉄鋼会社の小さいのがある位で非常に静かな落ち着いた良い街です。

今後向うともお話しをして来ましたが生徒及び先生と話したのですが何んとかあの様な所と親善関係を結び、行ったり来たりしたいと云う希望を持って来た訳です。向うの地区委員長の奥さんから2、3日前に手紙が届きまして自分達も日本に行きたいし又、是非来て欲しいと云う様な便りでした。この奥さんはアメリカン・ヒールドサービスと云う高校生を世界的にお世話をして国際親善に寄与して行こうとする団体のあの地区の今年に会長になっているのだと云うて居るそうです。その様に向うでも熱心に活動をやっていますし、今後あいう所と地理的にも非常に宜敷いので今後関係を結んで行きたいと思っています。

行って見ますと百聞は一見にしかずと申しますが直接ぶつかり肌で感じて参りますと国際理解、親善と云う事は本当に、この様な機会がないと出来ないのだと痛感しました。断片的な話になりましたが、その様な成果を挙げて参った様な感じで居りますので、今後益々宜敷くお願いしたいと存じます。

◆会員誕生 早坂徳治君、齋藤得四郎君、笹原桂一君、谷口晴敏君、内山喜一君

◆奥様誕生 半田節様、海東幸子様、小野寺桃枝様、佐藤鷹子様

◆年間皆出席 7年間皆出席 三井健君  
3年間 〃 吉野勲君、中野清吾君、佐藤衛君、菅健君、佐藤友吉君  
1年間 〃 中野重次郎君

◆1月125%出席 2名 阿部公一君、張紹淵君

◆1月100%出席 53名

### 出席報告

本日の出席	会員数 70名 出席数 55名 出席率 78.57%	欠席者	阿部(襄)君、半田君、石黒君、五十嵐(伊)君 上林君、風間君、小松君、中野(清)君、笹原君 高橋(正)君、高橋(良)君、津田君、清水君、 山本君、内山君
前回の出席	前回出席率 78.57% 修正出席数 65名 確定出席率 92.86%	マーク アップ	齋藤(信)君—東京城北RC 新穂君—酒田RC 五十嵐(伊)君、黒谷君、 三井(健)君、佐藤(衛)君、鷺田(幸)君、菅原 (啓)君、清水君、山本君—鶴岡西RC
ビジター	奥村知介君—習志野RC 滝禅源君—立川RC	半田茂弥君 中沢秀雄君 菅原松雄君	鶴岡西RC